

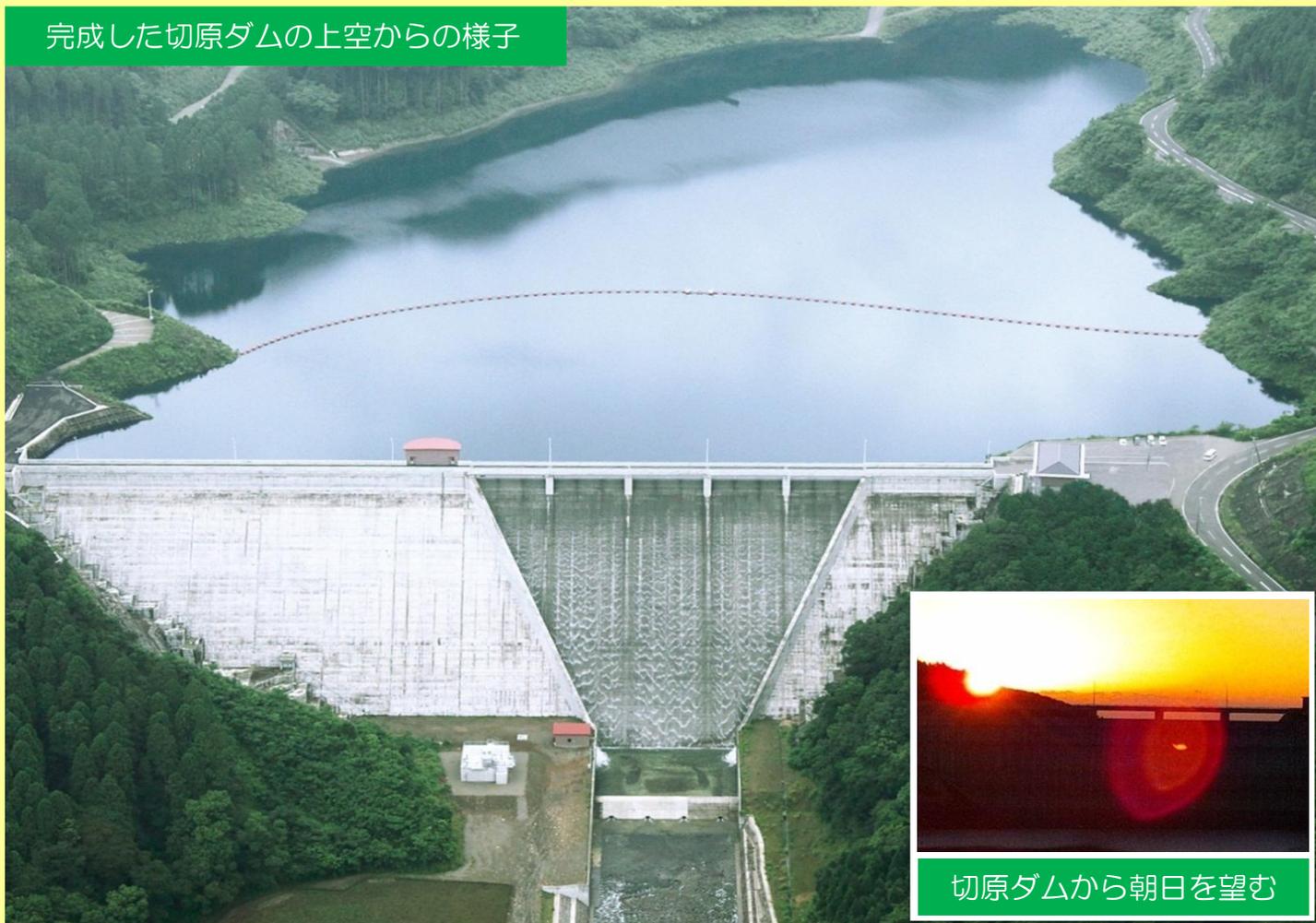
尾鈴 畑かんだより

第10号

平成25年3月

尾鈴
畑灌

完成した切原ダムの上空からの様子



切原ダムから朝日を望む

目次	国営尾鈴土地改良事業の実施状況	1
	県営事業の実施状況	2
	畑かん営農の情報	3
	畑かんを利用して～尾鈴北第1地区～	5
	農家の声	6
	お知らせ	7

尾鈴地区農業水利総合開発事業促進協議会
九州農政局尾鈴農業水利事業所
宮崎県児湯農林振興局
事務局：川南町役場農村整備課
TEL 0983(27)8012

国営尾鈴土地改良事業の実施状況

切原ダムは、約1年に及び試験を問題なく終え、平成24年12月8日から水を貯め始め、平成25年3月から通水を始めました。

また、国営尾鈴土地改良事業の平成25年度完了（予定）に向け、青鹿ダム取水設備の改修工事やダム等の施設を管理するための工事も進めています。

主な施設	全体量	進捗率 (%)										備考
		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
切原ダム	1式	91%										工事用道路含む
青鹿ダム取水設備改修等	1式	70%										//
パイプライン	36km	100%										
ファーム Pond	4カ所	4カ所										

※進捗率は平成24年度までの予定



切原ダム満水（H24. 6試験中）

※試験のため最低水位まで低下させたので、現在、貯水中であり、写真のように満水状態ではありません。



青鹿ダム満水（H22. 10）



青鹿ダム落水（H24. 12）

※現在、取水設備改修工事のため落水しています。

県営事業の実施状況

実施地区

尾鈴北第1地区（旧唐瀬原地区等） 給水栓設置工事も終盤へ

尾鈴北第1地区では、一部を除き平成24年度までに給水栓工事がほぼ完了し、平成24年度末から農道工事を実施しています。
事業完了予定は、平成26年度となっていますので**設置を希望する方は、平成26年3月までに改良区へ申し込み**をお願いします。

尾鈴北第2地区（鵜戸の本、祝子塚、野田等） 平成24年度から工事始動！

尾鈴北第2地区は、平成24年度から鵜戸の本方面から順次、給水栓設置に向けたパイプライン工事を本格的に実施しています。

染ヶ岡・鬼ヶ久保地区（染ヶ岡、鬼ヶ久保等） 工事着手に向けて始動！

染ヶ岡・鬼ヶ久保地区は平成24年度にパイプライン工事のための地図作成や基本設計を実施しました。
平成25年度以降は給水栓設置に向けての調査や詳細な測量設計を計画しており、このあと順次、パイプライン工事を実施していきます。



パイプラインの敷設状況



パイプラインの橋梁添架

新規地区

通山・坂の上地区（通山、坂の上、伊倉等） 尾鈴北第3地区（沓袋、八幡、込ノ口、銀座等） 事業着手に向けて始動！



事業着手に向け、地区座談会を開催し、畑かん事業の理解を深めていただきながら、地元の要望内容に応じた事業計画となるよう進めています。

通山・坂の上地区の受益地状況

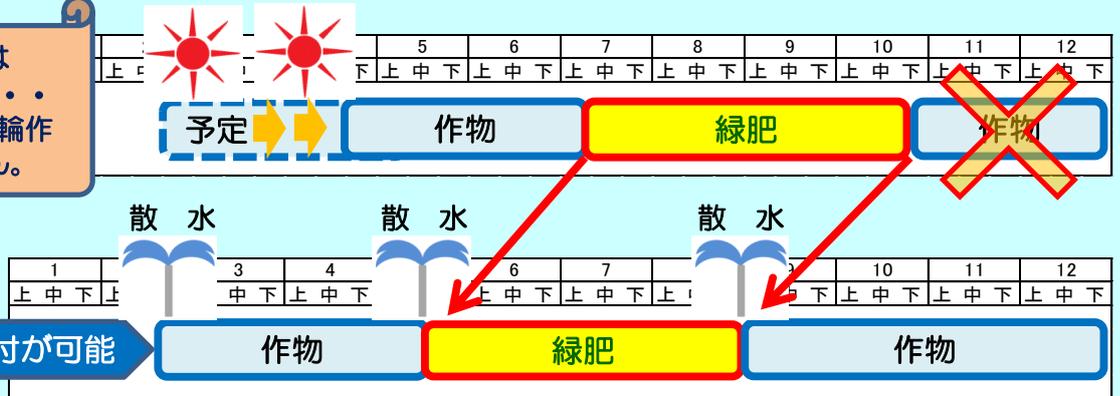


畑かん営農の情報

緑肥による土づくりを組み込んだ輪作体系が始まっています。

連作障害による生産不安定から、地力の向上による土壌環境の改善を図るため、緑肥を組み込んだ土づくりが見直されています。

しかし、雨待ちでは播種や生育がずれ込み・・・緑肥を使った安定した輪作体系が成り立ちません。



畑かんで計画的な作付が可能

畑かんを活用することで、緑肥を組み込んだ輪作体系を、計画的に実施することができます。

畑かんを活用した計画的な輪作体系の確立のため、試験ほ場を設置しています。

ほうれんそう

センチュウ抑制効果のある緑肥を播種前に栽培



緑肥ソルゴーをすき込むことで・・・



土壌センチュウを抑制し、順調な生育となりました。



土壌センチュウの減少効果 (普及センター調べ)

キャベツ

根こぶ病菌の低減効果のある緑肥 (おとりダイコン) を定植前に栽培



おとりダイコンをすき込むことで・・・



試験ほ場では根こぶ病の発生はみられませんでした。

今年の見湯管内での根こぶ病発生は少ない状況ですが、土壌中の根こぶ病菌の密度は作付前の約半分以下に低下していました。

畑かんを活用することで、気象変動に左右されない輪作体系を計画的に実施することができます。所得の向上・安定が図れます。また、目的に合った緑肥を活用すれば、「病虫害抑制」「雑草抑制」「心土破碎」などのプラスαの効果も期待できます。

宮崎県畑かんマイスターが誕生しました！

地域での畑地かんがいを活用した畑かん営農の実践者に対して、県が委嘱する「宮崎県畑かんマイスター」が誕生しました。

10月9日に県庁で委嘱式が行われ、児湯全体で5名、尾鈴地区からは2名が委嘱されました。今後は、畑かん営農の実践を踏まえた地域内での助言や、行政への提言などの活動を行っていきます。

川南町畑かんマイスター
姫野 鋭一氏



高鍋町畑かんマイスター
前田 廣実氏



染ヶ岡地区での
小学生畑かん施設見学



行政との意見交換会

自走式散水機のリース機が地区内に導入されました。

平成24年度より、自走式散水機の貸出しが始まりました。これは、尾鈴地区畑作営農改善推進協議会を通して貸出されるもので、受益地内で開栓している方ならどなたでも無料で借受けられます。

またとないこの機会に、省力化した散水が可能な自走式散水機を活用してみませんか？

＜お問い合わせ先＞

尾鈴地区畑作営農改善推進協議会
尾鈴土地改良区

TEL 0983-22-1364
TEL 0983-27-5484



中型自走式散水機



小型自走式散水機

- ◎ノズル付きブームが移動しながら自動散水した後、自動停止
- ◎1時間で12～20mmの降雨と同等のかん水
(調整可能)
- ◎ノズルからの細かい霧状の散水が可能

- ◎台車のスプリンクラーが移動しながら自動散水した後、自動停止
- ◎1時間で10～17mmの降雨と同等のかん水
(調整可能)
- ◎台車の幅は1.3～2mで調整が可能

自走式散水機の特徴

- ①自走式散水機は水圧を動力として自ら移動しながら散水し、散水終了後には自動停止します。
- ②設置・撤去が簡単で作業の省力化が図れるため、その時間を他の栽培管理に充てることもできます。
- ③現在市販されている上記の2種類の散水機では、どちらも1回で30a(30m×100m)のほ場を散水することができます。

畑かんを利用して ～尾鈴北第1地区～

『尾鈴北第1地区』では、ほとんどのパイプライン工事が完了し、作物に応じて効果的な水利用がなされています。



レインガンによる飼料作物へのかん水



吊下げ式スプリンクラーによるナシへのかん水



立上り式スプリンクラーによる茶の防霜の様子



散水チューブによるイチゴへのかん水



立上り式スプリンクラーによるショウガへのかん水



立上り式スプリンクラーによるキャベツへのかん水



今回は実際に畑かんを利用されている農家の方々へ、その効果について話を聞いてみました。



川南町平下地区 坂元 俊之さん



経営内容 茶（春夏作）、イチゴ（秋冬作）

Q 畑かんを利用する前と今を比べてどう変わりましたか？

A 畑かんの利用を始めて、毎日のイチゴへのかん水はバルブの開閉だけで済むし、液肥混入等も簡単に出来るようになり生産性が向上しました。昔はエンジンを掛け、ポンプアップしなければならなかったため、非常に労力もかかっていましたが、今はかなり軽減しました。

Q 散水施設を使用して感じている事を教えてください。

A 昔の茶のスプリンクラーは、手動で設定温度になる頃まで起きていなければならなかったが、今はセンサーで設定温度になると自動で散水、止水するので朝方の見回り程度だけで済み労力が軽減されました。また夏の渇水時にもかん水ができ施肥効果も上がり生育も良くなりました。

川南町銀座地区 井上潤一郎さん



経営内容 ミニトマト

Q 畑かんを利用する前と今を比べてどう変わりましたか？

A 畑かんの水がくるまではため水を使用していました。使える水の量が限られていたので、30分かん水したい時でも10分しかかん水できない事などこれまで頻繁にありました。畑かんを利用するようになって、安定かつ十分なかん水ができるようになり大変助かっています。

Q 畑かんを利用して、作物の生育に変化はありましたか？

A これまではため水を利用していたため、冬は水がとても冷たく、地温を下げ作物に悪影響がありました。畑かんの水は温かいので、水温による作物への影響が改善されました。また生産性の向上にもつながっています。

安定した農業経営につなげるために、畑かんを多くの農家の方々に利用していただくことを期待しています。



農家の声

- ◎ 氏名 川島 健哉さん (46歳)
- ◎ 労働力 3人 (本人、父、母)
- ◎ 経営内容 ぶどう 200a、梨 20a



川南町塩付地区で畑地かんがい事業等について尋ねてみました。

Q 農業を始めたきっかけは何ですか。

A 祖父の時代に始まった尾鈴地域のぶどう栽培を継承したいと思ったのがきっかけです。



Q 農業をして良かったと思うことは何ですか。

A 自分が作ったぶどうや梨を「美味しかったから」と再び買いに来て頂いた時に農業をして良かったなと思います。

Q 農業の楽しさや苦労していることは何ですか。

A 手間ひまかけて満足できる作物を収穫した時は楽しさを感じます。気象条件により収量品質に差がでる事に苦労しています。

Q これからの農業で重要であると考えるものは何ですか。

A 生産者と消費者との信頼関係だと思っています。

Q 畑地かんがい事業の必要性は。

A 道路、電気、水道等の整備と同様に、農業用水の整備も大変重要だと思っています。

Q 畑地かんがい事業について一言お願いします。

A 畑かんを利用するまでは雨水頼りでした。これまでぶどうの芽吹きの際に雨が少なく十分にかん水ができない事などありましたが、今は必要な時に必要なだけ水を利用できるので生産性の向上が期待できます。1人でも多くの農家の方々が畑地かんがい事業の恩恵を受けられればと願います。



スプリンクラーを導入されています。



収穫時期のブドウの様子

お知らせ

切原ダム見学について



満水になった切原ダム（平成24年6月撮影）

※試験のため最低水位まで低下させたので、現在、貯水中であり、写真のように満水状態ではなく、越流はしていません。



切原ダム見学の様子

切原ダムの見学は、団体・個人を問わず随時受付けております。見学希望の方は、説明パンフレット等の準備を致しますので、国営事業所の方へご連絡をお願いします。

尾鈴土地改良区（前尾鈴北第1土地改良区）より

尾鈴土地改良区連合について

平成25年2月に「尾鈴土地改良区連合」が認可され、3月に設立しました。

これは、平成25年度で国営尾鈴土地改良事業が完了することに伴い、国営造成施設（※1）については、尾鈴土地改良区と小丸川土地改良区が土地改良区連合を設立して管理することになります。

今後は、九州農政局と管理委託についての協議を経て、平成26年度から「尾鈴土地改良区連合」が国営造成施設の維持管理を行います。

（※1）切原ダム、青鹿ダム、幹支線用水路及び水管理施設並びにこれに附帯する施設

尾鈴北第1地区 散水施設申し込みはお早めに！

平成13年度に着工した県営事業「尾鈴北第1地区」は、平成26年度で完了します。

スプリンクラーや散水チューブ等の散水施設が、県営事業において8.3%の農家負担で導入できますが、平成26年度で事業が完了しますので、設置希望者は平成26年3月までに改良区（Tel 27-5484）へご連絡ください。

☆ 手続きが必要です ☆

○ 水利用（給水栓使用） …………… 開栓届出書

○ 県営事業による散水施設導入 …… 設置申込書

受付：尾鈴土地改良区（Tel 27-5484）

国営事業

九州農政局 尾鈴農業水利事業所 調査設計課 Tel 0983-27-7411

県営事業

宮崎県 児湯農林振興局 農村整備課・農村計画課 Tel 0983-22-1367

関係町

事務局	川南町役場	農村整備課	開発係	Tel 0983-27-8012
	高鍋町役場	産業振興課	農村整備係	Tel 0983-26-2021
	都農町役場	建設課	管理係	Tel 0983-25-5717
	木城町役場	産業振興課	耕地係	Tel 0983-32-4739

関係土地改良区

尾鈴土地改良区 Tel 0983-27-5484 小丸川土地改良区 Tel 0983-22-1323

尾鈴北第1地区畑作営農推進プロジェクト班

川南町役場 農林水産課 農産園芸係 Tel 0983-27-8011

尾鈴地区畑作営農改善推進協議会

宮崎県 児湯農林振興局 畑かん営農推進担当 Tel 0983-22-1364